

愛宕山用地における施設整備計画に伴う説明会の概要

- 1 日 時：平成 27 年 2 月 21 日（土）18:30～20:30
- 2 場 所：岩国市民会館大ホール
- 3 出席者：（中国四国防衛局）中国四国防衛局長、企画部長、調達部長ほか
（岩国市）岩国市長、政策審議官、基地政策担当部長、拠点整備担当部長ほか
- 4 参加者：約 250 名

説明概要

※ 当日は、別添配布資料「愛宕山用地における施設整備計画に伴う説明会」（中国四国防衛局作成）の内容に加えて、次の補足説明がありました。

□ 野球場

- 高校野球の公式競技が可能な規格
- 野球場と駐車場の間には、液晶パネルのインフォメーションボードを設置
- スタンドへの入口は、両サイドの階段。身障者用の入口としては、内部にエレベーターを設置
- バックネット裏のスタンドには、背付椅子 2,125 席や車椅子用観客を、1 塁側、3 塁側のスタンドには、ベンチシート 2,914 席を設置
- 外野スタンドは、グラウンド側を芝生とし、だんだん場外に向かってコンクリート製の階段状とする。
- 内野スタンドの屋根は、東京ドームと同じような素材のテフロン膜
- 内外野スタンドの壁には、選手が衝突した際の怪我を防ぐため、ラバークッションを設置
- スコアボードは、日本語表示の縦書き、横書き、英語表示の横書きを可能にするため、LEDのフルパネルを設置する。これにより、流動文字や映像を表示させることが可能
- テレビ中継が可能なように、スコアボード付近や内野スタンドにテレビカメラ用の端子を設け、テレビ中継専用の端子は、スタンドの入口付近に設置

□ 陸上競技場

- 競技用の器具を収容するための用器具庫は、第 4 種公認施設で必要な用器具を収納できる大きさ
- スタンドの 1 階には、簡易な調理室や更衣室などを設置
- トラックは、全天候型のポリウレタン系舗装
- サッカー場のピッチの大きさは、日本サッカー協会のスタジアム標準により 105m×68m
- 投てき場（砲丸投げ）の砲丸が落下する場所は、ほこりが立ちにくい土舗装とし、緑色に着色

- スタンドの観客席は、ベンチシート
- メインスタンドの両サイドには、芝生スタンドを設置
- インフィールド内には、陸上競技で使用する各種計測機器（例：写真判定装置、タイム計測装置等）の設置に必要な電源を設置

□ コミュニティセンター

- アリーナ部と多目的室部に分けられる。
- アリーナ部には、両サイドにバスケットボール・バレーボール兼用コートを、中央にバレーボールコートを配置し、各コートは、防球ネットで仕切りが可能
- 多目的室部の1階には、国際交流事務室、会議室、調理室、親子エリアを、2階には、和室、多目的室を配置し、日米交流が十分可能な多様な機能を有す。
- 和室は、39畳（畳のふちは、黒色）で、吉香茶室を参考にし、畳敷きの廊下に面した障子は、雪見障子
- 1階の会議室、2階の多目的室は、パーティションで間仕切りが可能
- 正面玄関の入口は、ガラス張りで、1階部分の外壁は、杉板の化粧型枠を使用

□ ソフトボール場

- スコアボードは、LEDの部分パネル
- ナイター設備を設置
- 2面ともに、1塁側と3塁側にそれぞれ70人掛けの観客席を設置
- 成人男子、女子、小学生などの利用が考えられることから、投球間距離やベース間距離の変更が可能となるよう内野はクレイ舗装
- 駐車場側に面する部分には、外周ネットを設置

□ 屋外運動施設

- 屋外バスケットボールコート：全天候型のコート
- 屋外バレーボールコート：砂地のコート
- 屋外テニスコート：全天候型のコート
- 全ての屋外運動施設には、ナイター設備と、ボールの飛出しを防ぐフェンスを設置

□ その他施設

- 東屋は、陸上競技場地区に4箇所、野球場地区に8箇所を設置
- 公衆トイレは、陸上競技場地区に2箇所、野球場地区に3箇所を設置
- 遊び場は、陸上競技場地区に2箇所、野球場地区に3箇所を設置し、けがの防止を図るため、地面に衝撃吸収舗装を採用
- 県道南岩国尾津線沿いのフェンスは、高さ1mの忍び返しがないメッシュフェンスで、色はグリーン系で計画

□ 家族住宅エリア

- 平成 24 年に示した施設概要図の建物等と大きく変更はない。
- 家族住宅の戸数は、これまで 270 戸程度とお知らせしていたが、実施設計完了に伴い、262 戸を建設
- 家族住宅のほか、支援施設として生活支援施設、公共施設、倉庫、南北ゲートを建設する計画

□ 愛宕山用地における主な施設整備の進捗状況と今後のスケジュール

- 造成工事は、平成 26 年 5 月から仮設工事に着手し、平成 27 年 5 月末で完成する予定。現在、陸上競技場地区は、擁壁工事を実施しており、今後、この擁壁内に土砂を搬入していく。野球場地区は、一次造成の切盛土を引き続き実施する。
- 家族住宅エリアと運動施設エリアを結ぶ橋梁は、平成 26 年 10 月に工事契約を行い、平成 28 年 3 月末までに完成する予定。市道牛野谷町 29 号線の上に架けるため、橋梁の基礎部分の工事や橋梁を架ける際に市道の規制が発生する。規制時期については、道路管理者と綿密に調整を行うとともに、詳細については、周辺住民の方にお知らせを行う。
- 給排水管等は、平成 27 年 1 月に契約を行い、平成 29 年 3 月末までに完成する予定。各施設の整備状況に合わせた整備を行うことから、全体としては、平成 29 年度中に完成する予定
- 運動施設エリアの野球場、陸上競技場、コミュニティセンターは、平成 29 年頃の完成としているが、野球場等の運動施設はできるだけ速やかに完成するよう努める。
- 家族住宅についても、平成 29 年頃の完成予定

質疑応答概要

(質問) 運動施設の細部に渡り説明を受けたが、予想を上回る遥かに立派な設備であり感謝する。可能であれば、微修正の範囲内で市民の声を更に反映してもらいたい。

利用のための組織づくりや、親しみやすいネーミングの募集を提案する。

(局回答) 施設の詳細は、市民の皆様方ができるだけ使い勝手が良い仕様となるよう、岩国市及び米軍と引き続き調整し、適切に対応してまいりたい。

(質問) 緊急車両が家族住宅エリアを通行できるのか。

(市回答) 緊急車両が家族住宅エリアを通行できるように、協定の締結について、国及び米軍と協議・調整を行ってまいりたい。

(局回答) 米軍との協定は、岩国市から提案があれば、当局も中に入って調整する。

(質問) 野球場の LED のスコアボードの他事例があれば教えて欲しい。内野の土はどのようなものか。内外野の散水栓は付いているのか。また、ソフトボール場は、少年野球にも利用できるのか。

(局回答) LEDのスコアボードは、幅 20m、高さ 7 m。周南市の津田恒美メモリアルスタジアムのスコアボードと同程度。土は、黒土混合土舗装で、化粧砂等で表面処理。散水は、埋設型の散水栓を 6 箇所設置

ソフトボール場は、内野をクレール舗装とし、ソフトボールや少年野球など、利用される方によりベース間距離などが変更でき、幅広く利用できる。

(質問) 施設整備に係る総予算はいくらか。

(局回答) 現段階で、調整を了していない部分があり、総事業費を正確に見積もることはできない。

(質問) 池子住宅と比較して、なぜ詳細が明らかにできないのか。また、ディスプレイの設置が環境汚染にならないのか。合併浄化槽を設置するのであればその費用はいくらか。

(局回答) 家族住宅エリアについて、岩国基地へ意見照会を行ったところ、現時点において家族住宅エリアの配置計画について、運用、警備上の理由から、開示することができないとの意見があった。

下水処理は、岩国市の計画により整備される公共下水道に接続する計画としている。

(質問) サッカーコートのラインは、埋め込み式になるのか。少年用も設置してほしい。また、陸上競技場のスコアボードについて説明いただきたい。

(局回答) 人工芝に白色のカラーリングを施してライン表示したい。少年用の対応も検討していく。

陸上競技場のスコアボードは、競技名や選手名などが表示できる。サッカーの試合の際には、前半、後半、延長、PKのスコア表示が可能

(質問) 施設利用の優先権は、米軍側にあるのか。また、コミュニティセンターは、合宿等を目的とした宿泊が可能なのか。

(局回答) 運動施設エリアは、市民の皆様が利用可能な施設で、かつ、身分証のチェックなしに立ち入ることができるという方針に変更はなく、利用形態の詳細は、現在、岩国市及び米軍と鋭意調整を行っている。

コミュニティセンターは、宿泊の設備、施設は考えていない。

(質問) コミュニティセンターの和室を茶室として使用するとき、水屋や給湯設備が必要と思われるが設置されるのか。

(局回答) 和室は、下駄箱を備えた玄関や給湯室を設計している。数人程度であれば給湯室を控え室として使用することは可能

(質問) 事件・事故への対応はどうなるのか。

(市回答) ことある毎に、基地内で、安心安全のブリーフィング等しながら、いろんな試みを実施している。新たな総合計画においても、基地との共存を加えており、国際交流によ

り次の時代を担う若者を育てていく、スポーツ、文化などの交流事業をしっかりと取り組んでいくことを表明しており、愛宕山の施設は、いろいろな人がアイデアや意見を出し合い、お互いが上手く使っていきたい。

(局回答) 愛宕山用地における米軍人による事件・事故の防止についても、岩国飛行場と同様に、米軍に対して隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等により、その防止に努めてまいりたい。

(質問) 高校野球の公式競技は、できるのか。また、開門時間は夕方までとなっているが、試合が延長になった場合は、どのような対応をするのか。

(局回答) 山口県高校野球連盟、高等学校野球連盟に対して、高校野球の公式競技開催に必要な施設基準について意見を伺っている。詳細は、引き続き岩国市等と調整してまいりたい。

(質問) 愛宕山の施設は、刑事特別法の適用される区域になるのか。

テロ対策等、日常の警備はどのように対応するのか。

緊急閉鎖ということはないのか。

使用料の取扱いはどうなるのか。

家族住宅の1棟当たりの住宅建設費はいくらか。岩国基地内の家族住宅は、一部の工事が完了しているため答えられるのではないか。

(局回答) 刑事特別法の取扱いは、個別具体的な状況をみて判断される。

テロ対策等については、米軍や自衛隊が常に警戒している。

緊急閉鎖、使用料の取扱い等、運用の形態について岩国市及び米軍と調整をしているところ

1棟当たりの建設費は、未契約のため、お示しすることは困難。また、岩国基地内の住宅の1棟当たりの建設費についても、工事価格を類推されるおそれがあることから申し上げられない。

(質問) 運用に関する協議が整った際に、説明会を開催し、事故の対応を含めて市民に説明すべき

ドッグランは、できるのか。

バーベキュー場は、市民が使えるのか。そこで、米兵関係者は、飲酒ができるのか。

開門時間は、朝から夕方までとなっているが、市民はナイター設備を使用できるのか。

(局回答) ドッグランは、野球場の東側に予定し、バーベキュー場も設ける。

利用形態の詳細は、現在、岩国市及び米軍と鋭意調整を行っている。

協議が整い、全て決まった場合には、きちんとした形でお知らせしたい。

(市回答) 夜間利用は、岩国市が管理する他の施設と同様となるよう協議したい。